

はじめに

令和5年 イケトーク ICTを活用した授業実践報告

ロイロノートを使用した解の再考ワークシートの活用

大坂教育大学附属池田小学校・中学校
授業者 浅野 浩志

指導助言
大阪教育大学教授 永富一之

はじめに

このイケトークでは、皆さんに私の授業実践を見ていただこうと思います。

そのために、生徒名などが乗っている生のデータを見ていただこうと思っています。個人情報に当たりますのでそのあたりを配慮いただきますようよろしくお願いいたします。

※録画等は控えていただきますようよろしくお願いいたします。

ところで皆さん・・・

普段の授業でのICT機器の活用できていますか？

GIGAスクールでICT端末が生徒に配られたけれども有効活用できていますか？

なぜ、生徒がICT機器を活用しなければいけないのでしょうか？

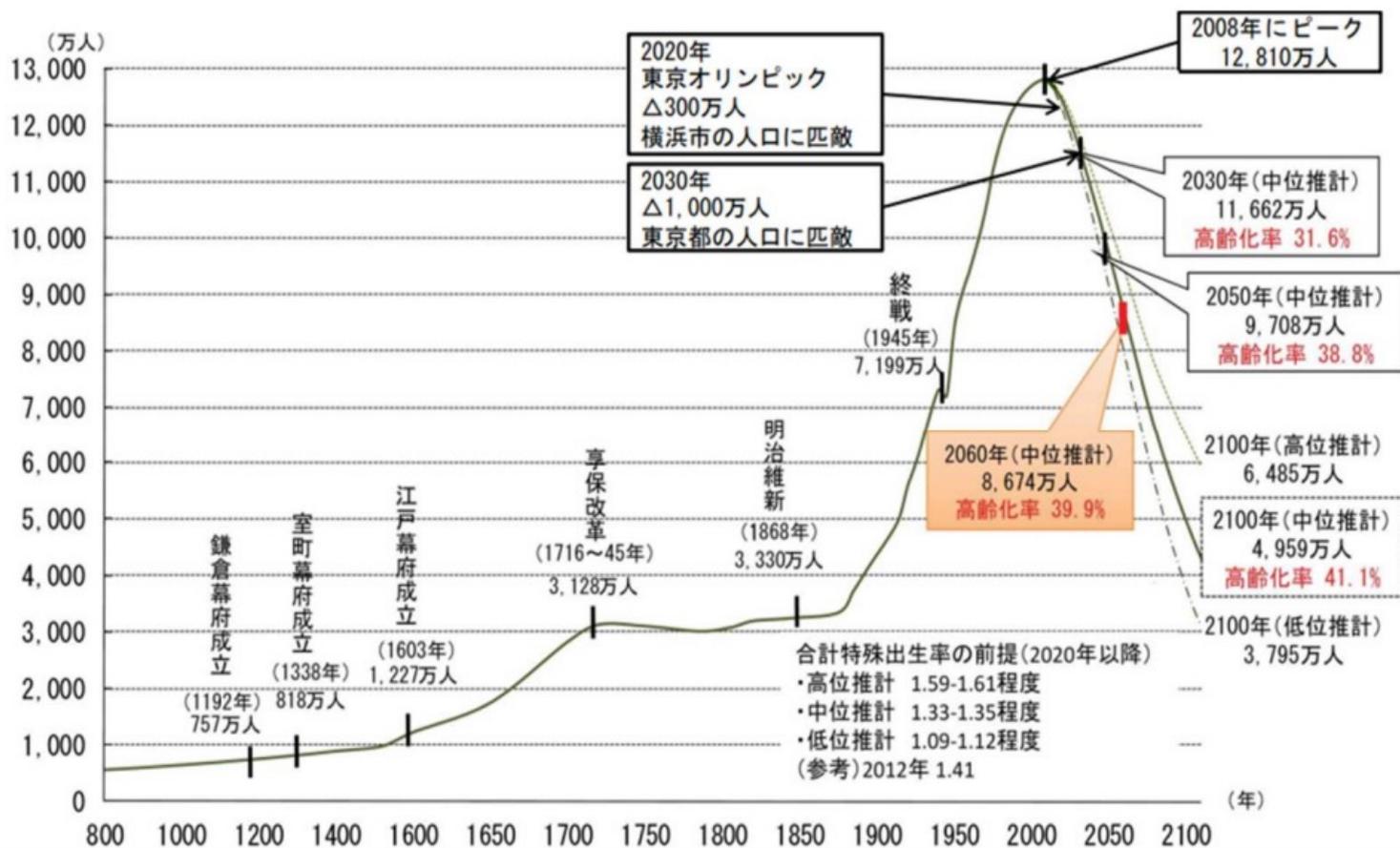
ところで皆さん

生徒が社会で力を発揮する

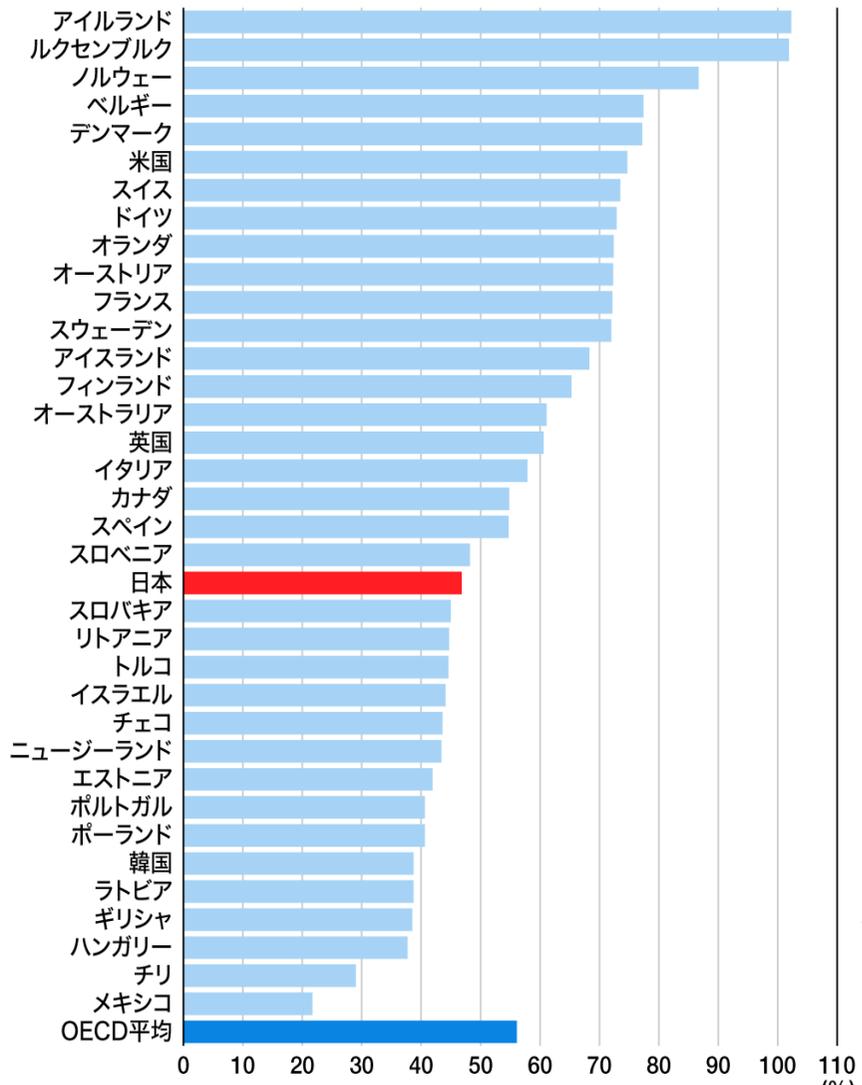
30年後の世界はどのような社会になっているのでしょうか？

I 新学習指導要領が目指す教育：これからの教育に影響する社会の変化

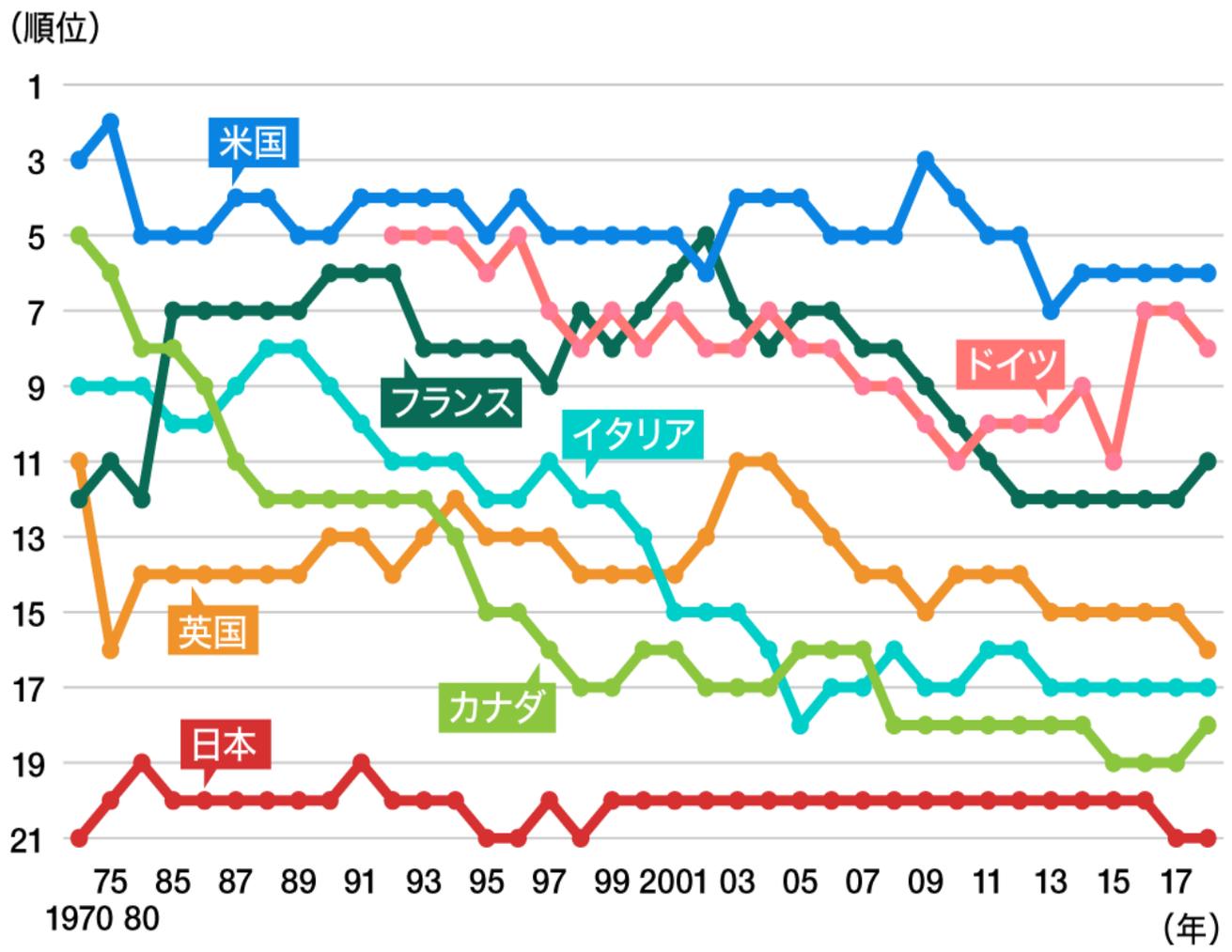
参考 日本の課題：急激な人口減少と高齢化



OECD加盟国の時間当たり労働生産性(2018年)



G7諸国の時間当たり労働生産性の順位の変遷



出所：日本生産性本部

どのように授業づくりを行うのか

このような社会で生きていくのにICT機器を当たり前前の道具として使えない状態だとどうなるでしょう。

だからと言ってICT機器を使用することが目的となってしまうっていませんか？

技術の授業で何を学習できるようにすれば良いのでしょうか？

技術・家庭科の目指す学習者像

生活の中から問題を見出し課題を設定し解決策を考える

しかしながら、いきなり問題を見出せる生徒はほとんどいない



低学年 { こちら側が、生活から問題を提示し課題を提示
授業内で解決策を考えさせる



高学年 { 自ら問題を見出し、課題を設定し技術・家庭科の見方・
考え方を働かせ問題を解決する

問題を見出す力と課題を解決する力が自然と育っていく

生徒につけたい資質能力と評価について

学びを生活や社会に生かそうとする

性

の涵養

主体的に学習に取り組む態度 + **倫理観**

- ・粘り強く学習に取り組む態度・自己調整
- ・生活に活かそうとする(工夫し創造する)態度

個人内評価(教師が評価できない)

未知の状況にも対応できる **思考力・判断力・表現力** の育成

思考・判断・表現

- ・ **見方・考え方** (知識や技能を使用し) を働かせ問題を解決する力
(**技術は多面的**な方向から物事を思考し、**最適解**を考える)
構想、評価・改善、表現

生きて働く **知識及び技能** の習得

知識・技能

技術の見方・考え方とは

技術の4側面

社会からの要求

人間にとっての利便性

経済面

金銭面

環境への負荷

人間以外の生物環境
情報システム

安全性

安全性

空間的範囲

生産者、消費者

個人、家庭、地域社
会、地球規模

生産、使用、廃棄、
万が一のトラブル

時間的範囲

現在 未来
(短期的・長
期的)

技術の4側面だけでなく**空間・時間的範囲**も踏まえた考
えをさせることにより、より技術の**見方・考え方**が深まっ
たといえる。

授業で狙う資質・能力って段階があるのでは

主体的に学習に
取り組む態度

思考・判断・表現

知識・技能

0段階

概念的な知識を形成し
ようとしている[関心・意欲]

1段階

知識及び技能の習得

2段階

身の回りにあるもの
を見方・考え方で分
析することができる

3段階

知識及び技能を基に
最適解を導き出す

4段階

知識や技能を見方・考え
方に基づいて人生や社会
に生かそうとしている

1 内容や1学期など、長いスパンで生徒の成長を見る

指導する内容をデザインする

III

学びの過程

(目標に向かう道筋)

何を学ぶか、どのように学ぶか

【学習内容・場面・方法】

- ・単元目標に即した学習課題との出会い
- ・基礎的な知識・技能の習得、活用
- ・知識・技能をつなげる
- ・知識・技能を使って、思考し、まとめる など

II

子どもの現状

(目標に向けた実態)

【実態把握】

- ・既習事項等の到達度
- ・学習に対する意欲や構え など

各教科等の

見方・考え方

学びの過程において、どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくかということ

I

単元の目標

育成をめざす **資質・能力**

何ができるようになるか

【教育目標】

- ・学校教育目標・学習指導要領
- ・めざす子ども像 など

IV

見取りの指標

(目標への到達度)

何が身に付いたか

【観点別学習状況】

- ・評価規準、判断基準 など



解の再考ワークシート

解の再考ワークシート ひな型

あなたが取り組むなら？

1. 学びを貫く問い

最初の自分の考え

↓

学びの深まり

↓

最後の自分の考え

対話的な取り組み

	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4
特徴1				
特徴2				
特徴3				
特徴4				
特徴5				
特徴6				
特徴7				

先哲の考え方や生活文化など

4. 次の側面からそれぞれの〇〇が持つ利点や欠点について話し合い、表にまとめましょう。

【採点】自分が / 家族が / 地域で _____ するために選ぶ

	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4
側面1	○	○	○	○
側面2	×	×	×	×
側面3	○	○	○	○
側面4	×	×	×	×

協力・協働
設計・計画

見方・考え方を働かせる

ポートフォリオ

ICT機器を活用する利点

教師

- ・ 乱雑な字を読み取らなくていいため、生徒の記述した文章が読みやすい
→ 採点スピードが大幅に上がる。
- ・ 思考ツール等を授業で使用する時の授業準備に時間がかからない
- ・ 過去の授業で用いたもの（一度使用したもの）を簡単に流用できる（教材で使用できる）
- ・ 動画が等で細かい作業も拡大して説明ができ指導時間が短縮できる。
- ・ 反転学習による時間短縮がはかれる。
- ・ テスト前に慌てて課題を採点する、逆に採点できずに先延ばしにする必要がなくなる。

ICT機器を活用する利点

生徒

- ・短時間で多くの情報を収集整理ができる。
- ・対話的な学習でまとめたデータをすぐにコピーして送りあえる。
- ・プリントが資料箱にあるためプリントの紛失の心配がない。
- ・テスト勉強の時に白紙の学習プリントを使用し学習できる。
- ・反転学習で作業時間が大幅に増える。
- ・写真や動画で記録を残せるので後で見直したときに復習しやすい

ICT機器を活用する利点

- では実際にどのような形で使われているのか見てみましょう。